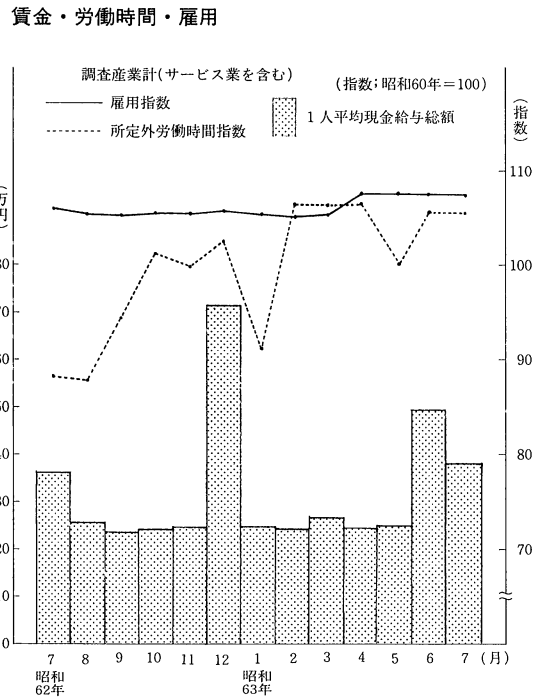
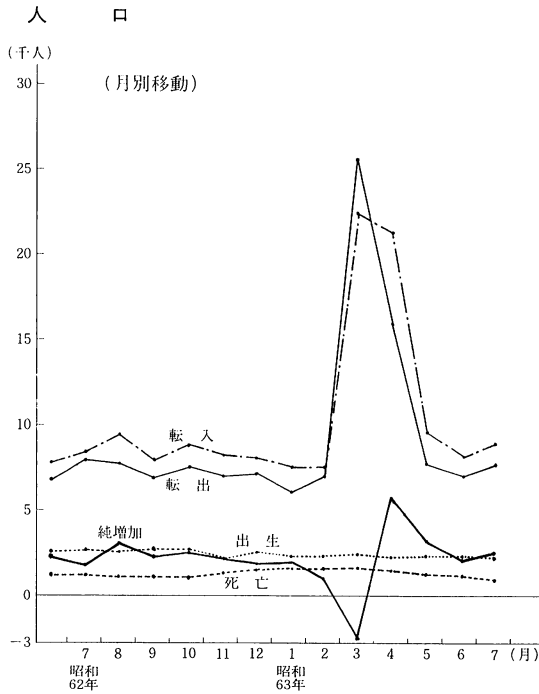
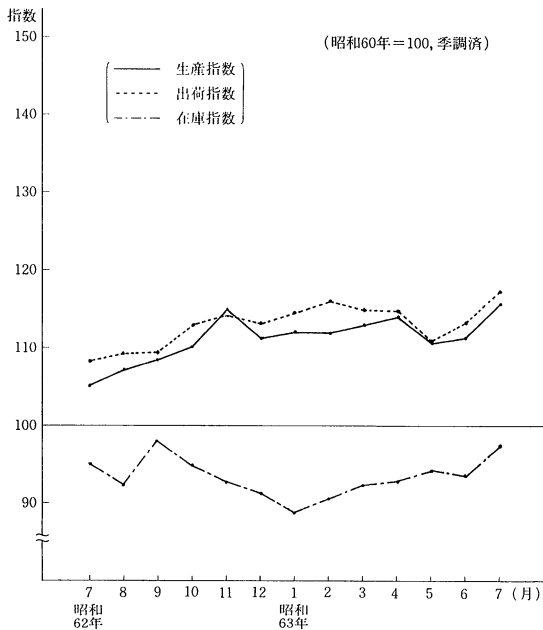


● 今月の主な動き

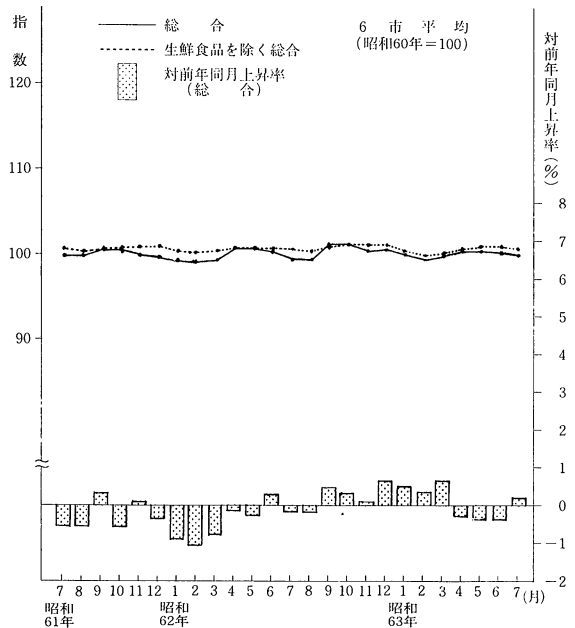
今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(8月1日)

本県の人口は、7月中に2,696人増加し、8月1日現在で2,791,390人(男1,391,149人、女1,400,241人)となった。

内訳は、自然動態で1,273人(出生2,546人、死亡1,273人)、社会動態で1,423人(転入9,088人、転出7,665人)、それぞれ増加した。昨年8月1日現在と比較すると、数で

26,808人、率で0.97%の増加である。

市町村別では、増加が18市44町村、減少が2市20町村、増減なしが4町村である。

世帯数についても、1,128世帯増加して、795,483世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(7月)

1. 平均賃金の推移

7月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は382,733円で前月に比べ23.4%減(前年同月比8.7%増)であった。

このうちきまって支給する給与は249,416円で前月に比べ0.6%増(前年同月比5.4%増)であり、特別に支払われた給与は133,317円で前年同月に比べ16,396円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は185.2時間で、前月に比べ0.5%減(前年同月比0.3%増)であった。

このうち所定内労働時間数は166.4時間で、前月に比べ0.6%減(前年同月比1.6%減)であり、所定外労働時間数は18.8時間で、前月に比べもちあい(前年同月比19.7%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると107.4で、増減率は前月に比べ0.2%減、前年同月に比べ1.6%増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(7月分)

本県における昭和63年7月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が116.0、出荷が117.4、在庫が97.6で前月比は、生産が3.8%の上昇、出荷が3.4%の上昇、在庫が4.2%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が10.6%の上昇、出荷が8.7%の上昇、在庫が2.2%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、石油・石炭製品工業、電気機械工業、鉱業等が上昇し、食料品・たばこ工業、精密機械工業、化学工業等が低下した。出荷では、一般機械工業、電気機械工業、その他工業等が上昇し、食料品・

たばこ工業、非鉄金属工業、窯業・土石製品工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、鉱業、化学工業等が上昇し、精密機械工業、一般機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財、耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、非耐久消費財、建設財が低下した。出荷では、耐久消費財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、建設財等が低下した。在庫では、その他用生産財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、資本財が低下した。

■消費者物価指数(7月)

昭和63年7月の茨城県消費者物価指数は、総合で99.9(昭和60年=100)となり、前月比△0.3%の下落、前年同月比0.2%の上昇となった。

今月上がった主な項目……油脂・調味料1.9%、野菜・海藻0.9%、飲料0.6%、調理食品0.5%

今月下がった主な項目……果物△4.6%、シャツ・下着△4.1%、衣料△3.3%、魚介類△1.9%

生鮮食品を除く総合は100.6となり前月比△0.3%の下落、前年同月比△0.1%の下落となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	99.9	△0.3	0.2	保健医療	103.1	0.0	0.2
食料	97.8	△0.1	0.2	交通通信	99.8	0.1	△1.3
住居	107.5	0.2	2.4	教育	113.2	0.0	2.8
光熱・水道	87.9	△0.1	△2.2	教養娯楽	101.2	△0.3	0.7
家具・家事用品	99.1	△0.1	△0.1	諸雑費	103.0	0.1	△0.1
被服及び履物	101.6	△2.9	0.5	生鮮食品を除く総合	100.6	△0.3	△0.1